

賦課方式の公的年金保険に積立金があることの意味とその役割

1 理解し伝えるべき項目

(1) 我が国の公的年金保険は、現役世代の保険料をそのときの高齢者の年金給付に充てる世代間扶養の賦課方式を基本としつつ、一定の積立金も保有し活用する財政方式をとっている。

公的年金保険の毎年度の年金給付は、その年度の「保険料」、「国庫負担（税）」と「積立金（運用収入含む）」の3つの財源により賄われる。賦課方式を基本としているため、**長期的に見ると保険料と国庫負担により約9割が賄われており、積立金とその運用収入が充てられる割合は約1割**となっている。

(2) 積立金及びその運用収入は、主に2040年台以降、団塊ジュニア世代が引退し少子高齢化が一層進行した将来の年金給付に充てられることが見込まれており、**積立金を人口構造変化や急激な経済変動を吸収するバッファとして活用することにより、給付水準の安定的確保を図っている**ものである。

2 伝える際のポイント

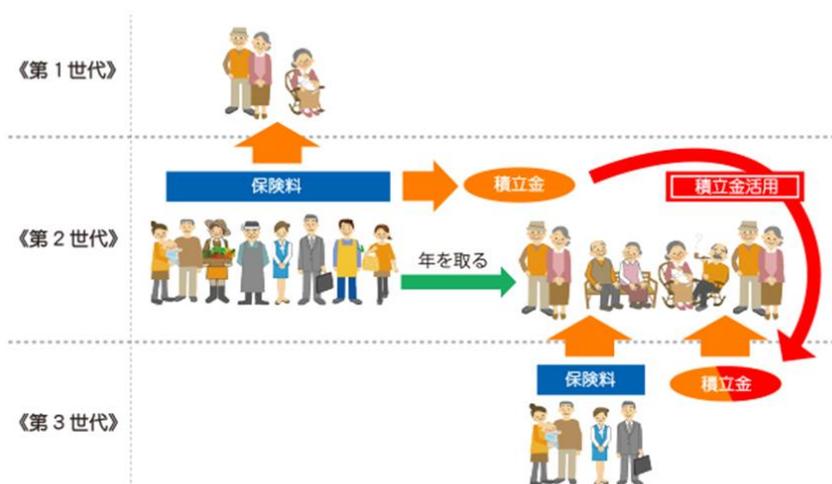
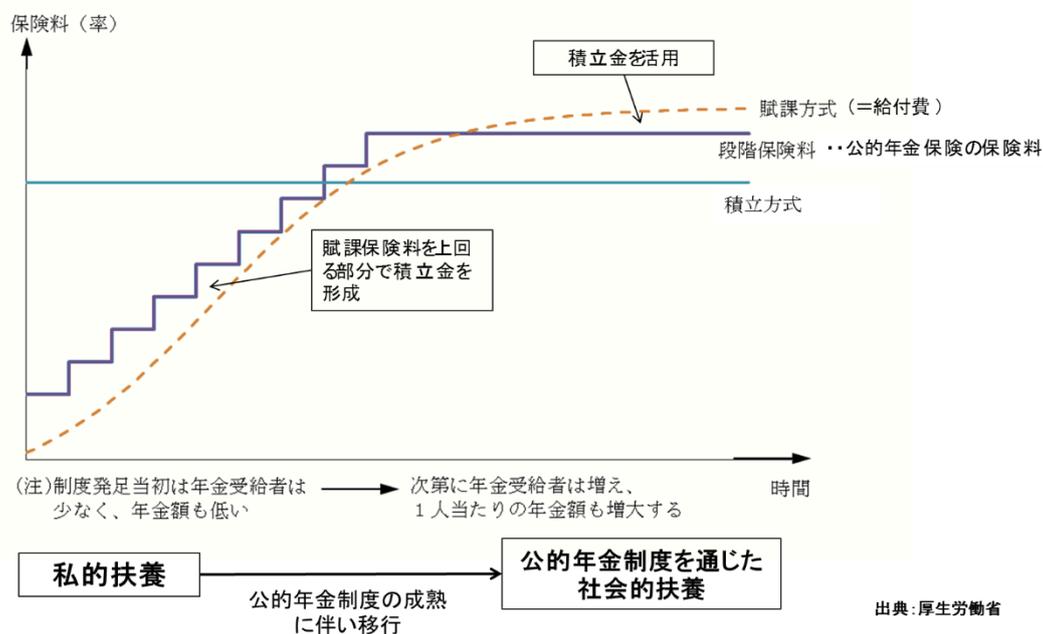
(i) 年金制度の成熟過程における積立金の形成

年金制度の発足当初は、老齢給付等の支給に必要な加入期間等の受給資格要件を満たす人が少なく、また加入期間も短いために受給者1人あたりの年金額も少額となる。このため、発足当初の年金給付費は少なく、その後、老齢給付等の受給資格要件を満たす人が増加し、それらの人の加入期間も長くなり受給者1人あたりの年金額が増大していくとともに、年金給付費は数十年の長い時間をかけて増大していく。このような過程を「年金制度の成熟」という。

公的年金保険は、**段階保険料により保険料水準を段階的に引き上げてきたが、制度が成熟する前においては、毎年度の保険料収入はその年度の年金給付費より多くなっており、その収支差により、積立金が形成された**。また、形成された積立金は債券や株式などにより運用されており、運用益によっても積立金が増加してきた。このようにして形成された公的年金保険の積立金は、現在、約200兆円となっている。

8 賦課方式の公的年金保険に積立金があることの意味とその役割

公的年金制度の成熟と保険料(概念図)



(ii) 公的年金保険の財源構成

公的年金保険の毎年度の年金給付は、「保険料」、「国庫負担(税)」及び「積立金(運用収入含む)」の3つの財源により賄われる。我が国の公的年金保険は賦課方式を基本としているため、**積立金により賄われる部分は限定的であり、財源の内訳を長期的に見ると保険料と国庫負担により約9割が賄われており、積立金とその運用収入により賄われるのは約1割となっている。**

8 賦課方式の公的年金保険に積立金があることの意味とその役割

積立金とその運用収入が充てられる割合は、様々な要因により変化していくが、団塊ジュニア世代が引退し年金受給者となる2040年前後よりその割合は上昇し、20%程度まで上昇する見通しとなっている。すなわち、**積立金は、主に、少子高齢化がさらに進展する将来において年金の給付水準を確保するために活用される。**

公的年金の財源の内訳（令和元年財政検証）

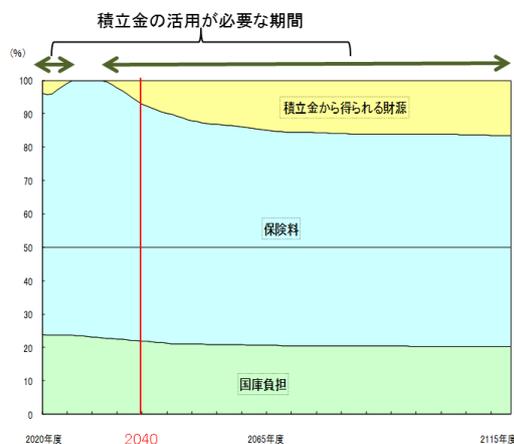
財政検証で前提としている概ね100年間を平均すれば、給付の約9割が保険料と国庫負担で賄われる。

<運用利回りによる一時金換算の財源内訳>



約1割

<年度別の財源の内訳>



〔前提〕財政検証における人口：出生中位、死亡中位 経済：ケースⅢ

物価上昇率：1.2%、
賃金上昇率(実質<対物価>)：1.1%、
運用利回り(スプレッド<対賃金>)：1.7%

出典：厚生労働省

(iii) 賦課方式における積立金の意義

日本の公的年金制度は賦課方式を基本としているものの一定の積立金を保有しており、その積立金の水準は、他の先進諸国の公的年金に比べて高い（給付費の4~5年分。例えばドイツは1月分）。公的年金保険は、2004年改正で設けられた財政フレームに基づいて、この**積立金と運用収入を活用することにより、保険料水準を固定した上で将来の給付水準の確保を図っている。**

また、急激な経済変動が起こったような場合も、この積立金があることで、ショックを吸収し不測の事態に対して一定のバッファーとすることもできる。

賦課方式を基本とすることによりインフレに強い仕組みとしつつ、積立金と運用収入を活用することにより積立方式のメリットも組み合わせている。

8 賦課方式の公的年金保険に積立金があることの意味とその役割

3 振り返り

- (1) 日本の公的年金保険の積立金はどのようにして形成されたか。
- (2) 将来の年金給付費のうち、積立金及びその運用収入が充てられる割合はどの程度か。
- (3) 賦課方式を基本とした公的年金保険において、積立金を保有するメリットは何か